



あしよろ

議会だより

No.206

2021.8

北海道足寄郡
足寄町議会発行



螺湾小学校・保育所合同運動会（6月28日）



予算・条例等の審議内容 など

2～4ページ

一般質問（3議員が登壇）

5～7ページ

議会の動き など

8ページ

第2回 定例会

第2回定例会は6月3日から15日までの13日間の日程で開催し（4日（13日は休会）、初日は、議長の諸般の報告、町長からの行政報告の後、報告承認1件、報告3件、工事委託契約、条例改正など16件の議案を審議（関連記事2～3頁）し、原案どおり可決しました。また、意見書案4件は所管の常任委員会に付託し、会期中の審査としました。14日は、3名の議員による一般質問（関連記事5～7頁）を行いました。

15日は、町長から4会計の令和3年度補正予算の提案説明を受け、即決で審議し、原案どおり可決しました。その後、追加日程で、意見書案5件、2委員会からの所管事務調査期限延長、4委員会からの閉会中継続調査申出を原案どおり可決、承認し、閉会しました。

報告承認

◆専決処分の報告

令和3年度足寄町一般会計補正予算（第3号）

新型コロナウイルス対応のため予算の補正をする必要が生じたが、議会を招集する時間的余裕がないため専決処分したものの。

・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業

1423万6千円

・事業継続緊急支援金

430万円

報告

◆繰越明許費繰越計算書

令和2年度一般会計予算で高度無線環境整備推進事業など7事業11億7592万6千円を翌年度へ繰り越すもの。

◆事故繰越し繰越計算書

令和2年度一般会計予算で地域活性化推進事業が年度内の完了が困難となり261万7千円を翌年度へ繰り越すもの。

◆予定価格1千万円以上の工事又は製造の請負契約締結

議事録

議会総合条例の規定により報告するもの。

人事

◆人権擁護委員候補者の推薦について

前任者の任期満了に伴い、新任候補者沼田聡さん（59歳・足寄町南5条3丁目）を適任と認めることに賛成しました。任期は3年。

条例審議

◆足寄町固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例

関係法令の一部改正に伴い関係条文を整理改正するもの。

予算審議

令和3年度一般会計など4会計の補正予算は、6月15日に即決で審議され、原案どおり可決しました。

可決した予算の主な内容は次のとおり。（☆は新型コロナウイルス対策です。）

◆一般会計補正予算

・公共施設等総合管理計画改訂業務 440万円

（川上議員質疑あり）

・地域活性化推進事業（地域おこし協力隊） 773万5千円

（進藤議員質疑あり）

・映画ロケセット改修事業 147万4千円

（熊澤議員・木村議員質疑あり）

・子育て世帯生活支援特別給付金事業 510万2千円



屋根が破損してブルーシートで応急処置された千春の家ロケセット

子どもセンター自動水栓化工事☆ 322万3千円

・予防接種管理システム改修業務☆ 129万7千円

・公衆トイレ改修工事（芽登・大誉地・上利別）☆ 334万円

・畑作構造転換事業補助金 921万7千円

・豊かな森づくり推進事業補助金 1715万円

・水源林造林事業 787万3千円

・足寄町商工会補助金☆ 200万円

・足寄町飲食店・宿泊施設感染防止対策支援金☆ 320万円

・足寄町飲食店・宿泊施設感染防止対策支援金☆ 320万円

・足寄町飲食店・宿泊施設感染防止対策支援金☆ 320万円

・あしよろ宿泊応援クーポン
事業補助金☆ 350万円
(榊原議員質疑あり)

・公衆トイレ改修工事(公園)
☆ 820万4千円

・避難所用間仕切☆

550万円

・小学校管理経費(☆一部)

670万2千円

(二川議員質疑あり)

・大誉地小学校教員住宅新築
工事 5283万5千円

・大誉地小学校教員住宅解体
工事 438万9千円

◆簡易水道特別会計

・足寄簡易水道螺湾地区配水
管移設工事 181万5千円

◆公共下水道事業特別会計補
正予算

・下水道管渠実施調査設計業
務 911万9千円

・下水道雨水管渠調査設計業
務 658万9千円

・雨水管新設工事 1100万円

・下水道管渠新設工事
△2698万1千円

◆国民健康保険病院事業会計
補正予算

・会計年度任用職員報酬
196万円

契約

◆オンネットー野営場休舎新
築(建築主体)(第2期)

工事請負契約について

・契約の方法…指名競争入札

・契約金額…6875万円

・工事期日…令和3年12月10
日

・契約の相手方…足寄町西町
8丁目1番地の12

株式会社 外田組

◆はるにれ団地公営住宅新築
建築主体(9号棟)工事請
負契約

・契約の方法…指名競争入札

・契約金額…7634万円

・工事期日…令和3年12月17
日

・契約の相手方…足寄町西町
8丁目1番地の12

株式会社 外田組

意見書

◆地方財政の充実・強化に関
する意見書

提出者 多治見亮一 議員

賛成者 二川 靖 議員

◆国民健康保険料(税)のさ

らなる負担軽減を求める意
見書

提出者 田利正文 議員

賛成者 高橋健一 議員

◆地域医療構想を見直し、実
情に応じた医療体制の確立
を求める意見書

提出者 田利正文 議員

賛成者 多治見亮一 議員

◆義務教育費国庫負担制度堅
持・負担率1/2への復元、
「30人以下学級」など教育
予算確保・拡充と就学保障
の実現に向けた意見書

提出者 二川 靖 議員

賛成者 多治見亮一 議員

◆林業・木材産業の成長産業
化に向けた施策の充実・強
化を求める意見書

議会運営委員会

委員長 榊原深雪

◆辺地に係る公共的施設の総
合整備計画の策定について

愛冠辺地、中足寄辺地、螺
湾辺地に係る公共的施設の総
合整備計画を策定するもの

◆辺地に係る公共的施設の総
合整備計画の一部変更につ

その他

◆辺地に係る公共的施設の総
合整備計画の策定について

愛冠辺地、中足寄辺地、螺
湾辺地に係る公共的施設の総
合整備計画を策定するもの

◆辺地に係る公共的施設の総
合整備計画の一部変更につ

賛否出席状況等

足寄町議会総合条例の規定
に基づき、第3回臨時会、第
2回定例会における議員の出
席状況及び議案等に対する議
員個々の採決態度を公表しま
す。

第2回定例会にて、二川議
員が14日の本会議に遅参しま
した。第3回臨時会は、欠席
遅参、早退する議員はいませ
んでした。

また、提案された個々の議
案について、全議員賛成で原
案どおり可決、承認、採択さ
れています。

【常任委員】

任期満了により、常任委員
会等の委員構成が次のように
決まりました。

なお、吉田議長は議長職の
ため、どの委員会にも出席で
きるなど固有の権限があるた
め一個の委員会には所属しま
せん。

第3回 臨時会

4月27日開催

任期4年の折り返し、

各常任委員の選任・条例改正・
補正予算案などを可決



◆総務産業常任委員会

委員長 高橋 秀樹
副委員長 二川 靖

【報告承認】

◆令和2年度足寄町一般会計補正予算（第11号）

・令和2年度末において、各種税、交付金、繰入金、繰出金等の変更により予算の補正をする必要が生じたが、議会を招集する時間的余裕がないため専決処分したものの。

◆文教厚生常任委員会

委員長 高道 洋子
副委員長 高橋 健一

【条例改正】

◆足寄町税条例等の一部を改正する条例

・地方税法等関係法令の改正に準じた改正

◆広報広聴常任委員会

委員長 熊澤 芳潔
副委員長 進藤 晴子
委員 委員

【予算審議】

◆一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出予算額の総額にそれぞれ84万9千円を追加し、予算総額を93億4625万2千円とするもの。

可決された内容は次のとおりです。

◆議会運営委員会

委員長 榊原 深雪
副委員長 木村 明雄
委員 高道 洋子
熊澤 芳潔
高橋 秀樹

・新型コロナウイルススワクチン接種記録システム連携業務 84万9千円

※議席番号順

コラム



議員の活動をより町民の皆さんに知って頂くため、本号から連載で議会で使われる用語などを紹介していきます。

第3回臨時会で委員会構成を変更し、5月10日から新体制がスタートしましたが、それぞれの委員会がどのような活動をしているのか、そもそも委員会とは何をする機関なのか？今回は地方議会における委員会とは何かをご紹介します。

業委員会、公平委員会及び監査委員に関する事項や他の常任委員会に属しない事項を所管しています。

文教厚生常任委員会は6人の委員で構成され、福祉課、住民課、国民健康保険病院、教育委員会及び固定資産評価審査委員会に関する事項を所管しています。

広報広聴常任委員会は議長を除く12人の委員で構成され、議会広報紙の編集及び発行に関する事項、議会広報・広聴の実施に関する事項、議会広報・広聴の調査及び研究に関する事項、足寄町議会ホームページによる広報に関すること、足寄町議会



の放映による広報に関することを所管しています。

「議会運営委員会」は定例会や臨時会の会期や日程、議事進行の取り扱いや意見書・請願の取り扱いなど、議会運営や活動のあり方などを協議します。本会議前

には必ず開催され、どの議案をどの順でどのように審議するか、一般質問の内容に誤りや重複等が無いかなどを協議しています。

「特別委員会」は案件ごとに設置されており、最近では「公衆浴場に関する調査特別委員会」や「足寄町地方創生調査特別委員会」が設置されました。「予算審査特別委員会」と「決算審査特別委員会」は毎年同じ時期に設置され、それぞれ新年度の予算と前年度の決算を審査しています。

「調査」とは、その委員会が所管する事務について実情を明らかにして課題や解決策を究明するための調査で、調査結果は本会議で報告されます。町はこの報告を念頭に事業を計画・執行していくことになります。

「審査」とは、本会議の運営を円滑で慎重なものにするため、議案等について専門的な審査を行い、結果を本会議で報告することで、議案審議の判断資料を提供する役割を持っています。

一般質問 3 議員が登壇

一般質問の質問内容及び答弁内容は要約してあります

足寄町農業振興策について



木村明雄 議員

木村議員 足寄町は基本的に基幹産業は農林業で、その基幹産業が元気でなければ他の産業を牽引していくことができず、町の衰退は免れない。

昨年十勝管内では、史上2番目の豊作で約3500億円の粗収益を上げたと言われている。しかし、足寄町は残念ながら不作に見舞われ、町はコロナ対策費として1億1500万円もの補填をした。今まで農業関係に関し行政側として、数多くの支援をしてきたものと考ええる。まずは農業者担い手支援事業から始まり、明暗渠事業、農道、大規模草地、バイオガス事業、鳥獣被

害対策、温泉熱利用ハウス事業、これら数多くの支援事業を展開してきた。今日まで農業発展を願い期待をしていただけに、努力の報われない、とても残念な結果である。

十勝管内では昨年史上2番目の豊作だったが、我が町足寄町は不作で大打撃を受けた。これらの原因は何か。

町長 令和2年度の足寄町は、4月下旬から6月上旬までは温暖な気候に恵まれたが、その後は日照不足により農作物の収穫に影響を与えた。最終的には平年作であったが、令和2年度はコロナの影響により小豆等豆類の取引相場が大きく値崩れしたと家畜の個体販売価格も値下げ傾向となったことなどが、令和2年度の農業所得の減少につながったものと考えられる。

木村議員 農業支援事業の大

年度までの計画で進めている。
木村議員 町長の行政執行方針の中に、足寄町農協が打ち出した平成31年度から令和5年度までの「地域振興計画」に基づき「足寄型農業」の確立への取組に対する支援を行うとあった。酪農、畑作、肉牛それぞれの営農形態の違いの中で足寄型農業経営とは具体的にどのようなものか。

町長 足寄型農業経営について、具体的な営農形態として示されたものではなく、足寄町農業協同組合が策定した地域振興計画を基にしたものが足寄型農業の取組となる。足寄町は中山間地であり条件不利地であることから、地域における農地の利用形態に適した農業を行うことにより、最も効率的な農業を試みることで、反当たり10万円の収入、現状よりも1俵、1トンの増収を目指す形態を総じて足寄型農業と呼んでいる。

木村議員 昨年、管内では史上2番目の豊作だったと聞いている。そこで、足寄農業の不作の落ち込み原因について説明があったが、この大打撃について、私は一気に解消で

きるとは到底考えていない。ここで、原因究明と対策は考えているのか。

経済課長 気象条件であるので、対策をどうするかということではなく被害をどう軽減するかによるものだと考えている。まず一つに、やはり土づくりというものが重要であると考えている。化学肥料に頼らない農業、有機質肥料、堆肥とか緑肥を使った農業をしていくこと、基盤整備事業による暗渠排水等の整備をしつかり行うことが大変重要。

木村議員 足寄町は人口減対策の一環として移住・定住、企業誘致なども率先して進めてきたが、どれを取ってもいまだに成功したと言えない。味のちぬやに原料作付と原料保管庫の誘致を進めてきたが、ジャガイモの作付面積は増えているのか。

経済課長 当時来たときには、ジャガイモの作付面積は40ha程度しかなかったが、その後150haまで伸ばす計画。令和3年度、150haの計画は達成されることになっている。

コロナ禍における 足寄町の防災対策について



進藤 晴子 議員

進藤議員 足寄町の防災訓練の実施状況は。

町長 昨年度は町民対象の訓練は実施せず、職員を対象に新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営訓練を実施。火災や地震を想定した避難訓練や初期消火訓練等を各小学校で3回、中学校で2回、また国保病院では避難訓練を2回実施。今後は新型コロナウイルス対策を踏まえた避難所開設訓練等の実施を検討していく。

進藤議員 地震対策で、学校にヘルメットを配備する検討は。

教育次長 螺湾小は雌阿寒岳を控えている為配備しているが、他にはない。現段階では考えていない。

進藤議員 防災備蓄品の数量・

保管場所と管理方法は。

町長 主な物で、簡易ベッド10台、段ボールベッド52個、間仕切り用屋内テント40個、4区画間仕切り10個、毛布650枚、アルミマット352枚、マスク9850枚、アルコール消毒液325リットル、非常用食料はアルファ米、パンなど約4200食、500ミリリットルのペットボトル飲料水約2300本を備蓄。役場庁舎北側の防災倉庫で保管。非常用食料は凍結等防止の為、役場庁舎内に保管。寝具等は市街地の町有施設に保管。

進藤議員 避難所運営マニュアルの活用は。

町長 平成30年9月に策定した避難所運営マニュアルの別冊として、新たに新型コロナウイルス感染症対策編を作成。マニュアルは町ホームページに掲載。今後は防災訓練や自治会等の防災活動を通じて町民に広く周知していく。

進藤議員 町民の防災教育の推進は。

町長 日頃から防災意識高揚の為に広報あしよる等で防災情報の提供に努め、自治会活動に担当者が向いて理解を深められるよう働きかけていく。また、児童生徒に対する防災意識の啓発教育を教育委員会等と連携していく。

進藤議員 自主防災組織活動の充実支援は。

町長 本年3月末現在、89自治会中、自主防災組織は20自治会が設立済みで43自治会が防災担当者を置いている。自主防災組織は共助の要となり、地域の防災力の中核を担う大切な組織である為、今後も設立に向けて積極的に働きかけていく。また、組織設立済みでも、十分な活動が行われていない自治会もあり、防災講座等の講師として担当者が出向き、防災活動の活性化を支援していく。

新型コロナウイルス感染症の収束がいまだに見通せない中、災害発生時に多くの住民が身を寄せる避難所での感染症対策は大変重要である。

進藤議員 強靱化計画の中で

も連携についても触れているが、国や道、本別町や陸別町との連携備蓄は考えているか。

総務課長 備蓄品についての国や道との協議はまだである。他町との連携については、例えば足寄町で災害が起こった時に本別町や陸別町に派遣要請をかける必要があるだろうし、逆に足寄町が要請に応じる場合も想定すべきであるがまだ行っていない。

副町長 備蓄品のやり取りは、毎年数回十勝振興局が行っている。また、開発建設部が災害時に派遣し、物資や災害対応の機材等を手配するシステムがある。

進藤議員 北海道地域防災マスターもしくは防災士の有資格者は足寄町では何人か。

総務課長 旭町地区に防災マスターが1名。

進藤議員 今回策定した「地域防災強靱化計画」だが、町民の声を聞く場をつくるべきではないか。

総務課長 改定時に検討していく。

進藤議員 最近、自助・共助・公助という言葉が大変多く使

われている。大規模災害、自然災害時には行政を当てにしているといけないとも受け取れるが。

町長 別の分野での使われ方として、大変な生活をしているのに自己責任では冷たいと言う声もあるようだが、災害発生時に、自分の命をまず守るのが自助。その後で、共助・公助というのが災害のときの使われ方と使っている。

進藤議員 経済力のある人、家族がいる人いない人、持てる者と持たない者の格差を生みかねない。「公助に限界があるから自助、共助があるわけではなく、自助、共助に限界があるから公助が必要なのだ」山梨大学の教授の弁である。行政に心に留めてもらいたい。

町長 災害は忘れた頃にやってくると言われていたが、最近では忘れないでまたやってくる。災害に対する備えは大変重要であり、町民が安心して暮らせるよう、自主防災組織の設立等自治会の方達と一緒にやっていく考えである。

足寄町合同納骨塚（合葬墓）

の設置について



田利正文 議員

田利議員 社会の変化により、葬祭の取組や考え方も様々に変化してきた。

少子高齢化と核家族化、格差社会など社会的要因が大きいのと思うが、お墓を持たない、持てないという状況が生まれている。その帰結として、自治体による合同納骨塚（合葬墓）の設置を望む声がある。

ここ10年くらいの足寄霊園の利用・管理状況について伺う。

町長 足寄霊園は4か所のエリアに合計1186区画整備されており、9区画未使用、183区画が改葬等で返納済み、10年間で使用申込み25区画、返納78区画、差引53区画減少した。

田利議員 人が亡くなると即納骨塚（墓）に入るわけではなく、その前に経なければなら



ない事がある。人の死に関わる法律は色々あるが、葬儀・葬式に関する法律の規定はなく、法律上葬儀はしなくてもいいという事になる。しかし、人々の人生の締めくくりとして古い時代から遺族や友人、知人、地域の人々により葬儀・納骨が行われてきた歴史がある。これ

期的に使用許可者の区画承継調査を行っている。園路の劣化や凸凹が著しく、平成27～30年度に改修している。

田利議員 町として合同納骨塚（合葬墓）を設置する考えはあるか。

町長 設置を検討するときは、町内の宗教関係者と協議が必要。施設が祖先の御霊への崇敬の心情を損なわないか等、広く意見を聞く必要があると考えており、本町として現在のところ設置する考えはない。

や孫に負担をかけないような自分の代で墓を無くしたいという考えが増えている。

他町の事例だが「合同納骨塚は少子高齢化や核家族化が進展している中、やむを得ない事情により墓の継承や維持管理が困難な方をはじめ経済的に墓を建てる事ができない方々のために、共同墓地内に複数の焼骨を一緒に納骨する合葬施設を設置」利用期間は50年、1200体分の焼骨が収容可能、建設費599万5千円、利用料金は町民1体分1万円。これぐらいの事例があれば、検討しやすいのではと思う。ぜひ前向きな答弁をお願いしたい。

住民課長 私も自治会の役員として、葬儀の司会、焼香順序の読み上げ、弔辞、弔電の合図等全てを仕切った事もある。今コロナ禍で、葬式のス

スタイルも変わってきており、家族葬が増えている。自宅でひっそり行われたり、通夜もなく一日で終わるものもある。コロナ禍と社会的な考え方も変わってきていると実感する。

田利議員 先祖代々の墓は足寄にある。子供達は道外におり、お盆・命日だからと墓参りに来ることはできない。今後誰が墓を継承するのか、子

塚の必要性が出てくるのかなと思っている。

自分でもこの件には興味・関心があり新聞の切り抜きを持っている。これから必要になってくるのかなということと今後に向けて合同納骨塚をどうしていくのかといったことも将来に向けて考えていきたい。近々やりますよとは言えないが、その必要性は私も感じている。

訂正

前号のNo.205号、9ページにおいて誤りがありませんでした。お詫びして訂正いたします。

【田利議員

一般質問の表題】

正…子育て世代が安心して医療が受けられるために

誤…異常気象に負けない農業を目指した農業振興策について



議会の動き

〈5 月〉

24日 総務産業常任委員会

〈6 月〉

2日 議会運営委員会

3日 第2回定例会・広報広聴常任委員会
総務産業常任委員会・全員協議会

7日 文教厚生常任委員会

8日 議会運営委員会

14日 第2回定例会・議会運営委員会

15日 第2回定例会・議会運営委員会

〈7 月〉

2日 十勝圏活性化推進期成会夏季要望（帯広市）

15日 文教厚生常任委員会

16日 広報広聴常任委員会

とかち広域消防事務組合議会（帯広市）

28日 総務産業常任委員会

閉会中の所管事務調査

常任委員会は、閉会中も引き続き次の所管事務を調査研究します。調査研究の内容は、次号以降でお知らせする予定です。

総務産業常任委員会

- ①観光振興について
- ②農作物の生育・作況状況について
- ③町道の現状と維持管理について

文教厚生常任委員会

- ①特別養護老人ホームの今後のあり方について
- ②学校の管理運営について

広報広聴常任委員会

- ①議会広報紙の編集及び発行に関する事項
- ②議会広報・広聴の実施に関する事項
- ③議会広報・広聴の調査及び研究に関する事項
- ④足寄町議会ホームページによる広報に関すること
- ⑤足寄町議会の放映による広報に関すること

議会運営委員会

- ①議会運営について
- ②議長の諮問に関する事項について

第3回定例会の日程

第3回定例会は9月7日開会

一般質問は16日からの予定です



足寄町議会中継のお知らせ

足寄町議会は、令和3年3月開催の第1回定例会から、YouTube（ユーチューブ）でのライブ中継を行っています。過去の動画も見ることができますので、一般質問や議案審議の様子などを詳しく知りたい方はこちらをご覧ください。

インターネットで「足寄町議会 ユーチューブ」を検索するか、足寄町ホームページの足寄町議会の画面から接続することができます。

議会の常任委員会構成が変わり、広報広聴常任委員会は熊澤芳潔委員長、進藤晴子副委員長の新体制となりました。広報広聴常任委員会では、議会の中で出てくる耳新しい単語やその時々新しい言葉などの解説・情報を掲載しながら、住民の皆様にも興味を持ってもらえ、わかりやすく、理解を深めて参加してもらえ、る議会広報紙を目指して議会・委員会活動に努めてまいります。

これからの時代、将来に向かって多くの課題が山積しております。人口減少、超高齢化社会へと人口動態が変化することで社会変化が起こる、いわゆる「2030年問題」が予測されています。

公職選挙法が改正され、選挙権も20歳以上から18歳以上に引き下げられております。未来を担う若い皆様のご意見・議会への参加をお待ちしております。

（熊澤委員長記）

